

地 域 再 生 計 画

1．地域再生計画の名称

多様な観光名所の連携による活性化計画

2．地域再生計画の作成主体の名称

群馬県、沼田市、みどり市

3．地域再生計画の区域

桐生市、沼田市、みどり市及び利根郡川場村の全域

4．地域再生計画の目標

群馬県の北東部に位置する本区域は、豊富な森林資源と多くの観光施設に恵まれている山間地域であり、桐生市の梅田湖、沼田市の老神温泉、みどり市の袈裟丸山や小中大滝、小平の里等、四季を通じて、観光客が様々な目的で訪れている。

古くから重要な交通路である国道120号、122号、また近年の主要地方道沼田・大間々線の拡幅等、地域の軸となる路線の整備は概ね完成している。

しかしながら、国道等の主要道路からの観光名所へ続くアクセス道路、または観光名所と観光名所をつなぐ路線の整備は不十分で、その整備が課題となっている。

また、計画区域面積の78%（約7万9千ha）を森林が占めており、森林の適正な維持管理、山村地域の生活環境改善のための林道整備が求められている。

このため、計画地域内において、観光地への市道と森林地域の林道を効率的に整備、接続することにより

森林へのアクセスを容易にし、林道周辺の森林の整備推進を図る。

訪れる人が効率的に、豊かな自然や観光施設の利用を可能とすることで、訪問者の増加による地域の活性化を図る。

住民にとっても集落間の効率的な移動が出来、活力のある住みよい地域作りを行う。

（目標1）林業の振興（現在の森林整備面積722haから10%増加）

（目標2）道路整備による観光客の増加（現在9697千人から10%増加）

5．目標を達成するために行う事業

（5-1）全体の概要

沼田市（旧利根村）の市道2路線の整備を行い、温泉地へのアクセスを容易にするとともに、林道青木輪久原線の改良、赤倉栗生線の開設を行い、国道120号からのネットワークの構築と路線周辺の森林施業の効率化等を図る。

みどり市（旧東村）にある林道小中西山線、林道作原沢入線、林道塩沢小平線の開設、小中新地線の改良・舗装、桐生市とみどり市を結ぶ林道梅田小平線の開設・改良、林道田沢小中線の開設、桐生市の林道赤城東麓線の開設を行い、森林整備の推進、豊かな自然へのアクセスを確保し、山村地域の活性化を図る。

（5-2）法第四章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

市道「(1)T105号線」 昭和56年3月18日 認定

市道「(1)T108号線」 昭和56年3月18日 認定

林道「赤倉栗生線」 利根上流 地域森林計画書(平成16年度)

林道「青木輪久原線」 利根上流 地域森林計画書(平成16年度)

林道「小中西山線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「小中新地線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「梅田小平線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「赤城東麓線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「田沢小中線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「塩沢小平線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

林道「作原沢入線」 利根下流 地域森林計画書(平成14年度)

[施設の種類(事業区域)、事業主体]

・市道	(沼田市)	沼田市
・林道	(沼田市)	群馬県 沼田市
	(利根郡川場村)	群馬県
	(みどり市)	群馬県 みどり市
	(桐生市)	群馬県

[事業期間]

- ・市道(平成17~21年度)、林道(平成17~21年度)

[整備量及び事業費]

- ・市道 1.1km、林道 14.9km
- ・総事業費 3,245,200 千円
 - 市道 508,000 千円(うち交付金 254,000 千円)
 - 林道 2,737,200 千円(うち交付金 1,368,600 千円)

(5-3) その他の事業

5月から11月にかけて毎日開かれる朝市や5月に開催される赤城神社の大蛇まつり等のイベントを活用し、当地域を訪れる観光客の増加を図る。

6. 計画期間

平成17年度~21年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握・公表するとともに、関係行政機関等からなる協議会を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。